

三月十一日（金）

令和五年度避難訓練最終回

## 児童代表の言葉

ゝ避難訓練に真剣に取り組む姿勢が  
尊い命 自分の命の大切さに気付くゝ

十三年前の今日、宮城県で大きな地震が起こりました。東京都も震度五強を超える地震が襲い、歴史に残る大地震となりました。また、今年の一月一日、能登半島で「能登半島地震」と呼ばれる大震災が起きました。

私は、東日本大震災と能登半島地震から自分の命の大切さを改めて学びました。また、当たり前のように思っていた日々も当たり前ではないのだらうという強い訴えを感じた氣もしました。

「尊いものを守ろう」という一つの意識から、自分たちの身を守ることが出来ます。避難訓練に真剣に取り組む姿勢がこの意識につながるのです。

日頃行っていた役立つ日はいつか必ずきます。私は、中学生になっても、いや大人になっても、いつ自分の命を落としてしまうかわからない状況の中で、冷静な態度で避難訓練で学んだことを実践していきたいです。皆さんも、自分の命は自分で守るのだと強く認識し、避難訓練に取り組んでみてください。改めて、自分の命の大切さに気付くことが出来るはずです。